

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぼけっと尼崎阪急塚口駅前教室		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 24日		2024年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 24日		2024年 10月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 15日		

安全に配慮された環境で、ホワイトボードを使って、今日の日付や部屋がどこか写真で

## ○ 分析結果

毎日、子どもたちが使用したセラピーのグッズは消毒拭

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が楽しく通園してくださっている	保護者様に、お子様の課題やご希望・頑張っている事・保育園、幼稚園やご家庭での様子をお伺いして、スモールステップで成功体験を積み重ねていく支援を行っている。また、季節に合わせた行事やイベントも実施している	お子様の課題を明確にしながら、職員同士案を出し合いながら、プログラムを考案し引き続き楽しく通園して下さることを大切にしながら、セラピーを行っていく
2	1,2歳児の利用者様も多く通園してくださっている	保護者様にお子様の興味のある玩具をお伺いし、お子様が無理せず、遊びの中で課題を達成できるようにプログラムを考案し、その中で出来ることを増やしている	乳児の発達をより理解し、興味が持てるような関わりや遊びを提供しながら、楽しい雰囲気の中で課題に取り組むことが出来るようにセラピーを行っていく
3	個別療育と小集団療育を行っている	お子様の課題に応じて、個別療育や小集団での療育を取り入れながら、幼稚園や保育園への入園にむけて取り組みを行っている。また、就学に向けてのプログラムも実施している	お子様の課題や達成目標を明確にしながら、スモールステップで進めていくと共に、保護者様とも共有しながら幼稚園や保育園・就学に向けて取り組みを行っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催が出来ていない	個別療育の為、入室時間も個々で違うため、保護者様同士の交流を持つことが難しい。また、保護者会の参加や交流を望まれている方も増えている	保護者様のご意向を聞きながら、慎重に検討していきたい
2			担当者からの情報共有や活動記録を基に、課題を分析している。また保護者との面談でニーズを伺っている
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		てらびあぼけつと尼崎阪急塚口駅前教室		公表日		2024年 10月 15日		回収数		19名		
		利用児童数		2024年10月1日		30名						
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	安全に配慮された環境で、ホワイトボードを使って、今日の日付や部屋がど	1	・問題ないと思っています					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	母口、子どもたちが使用したセラピーのグッズ	1	・全ての先生とまだご挨拶できていないため、人数の把握ができていないです					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	2	・詳しく知りたいと思います	・見学時に施設の環境についてもしっかりとご説明をおこなっています				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	・少し空調が寒いように感じる時があり、窓が無いので、仕方がないのかなとも思っています ・いつもきれいで明るく清潔です	・室温計を設置し、空調管理を徹底していきます				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0	・こちらの意見や、取り入れてほしいことを伝え、プログラムに入れていただけており、満足しています	・引続きお子様のできるようになったこと、頑張っている事・課題を共有し、個別支援計画に反映させていきます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお声がけください				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1	情報の共有や活動記録を基に、課					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	3	4	・連携園でイベントがある日は、参加させてもらっており、いい経験になっています	・イベント交流は行っているのですが、もっと解りやすく公表していきたいと思っています				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0	・子どもの困りごとで個別に相談した際、対応して頂いて感謝しています					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	1	1	・研修はありませんが、子どもへの接し方等を質問すると答えてくださります					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	0	0						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0		・お迎えの際に家庭での様子や園での様子を聞いてくださり、相談に乗っていただいています				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0		・いつも丁寧に対応してくださっています ・LINEでやりとりが出来ることがとても便利で助かっています				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	4	8	7	・不要だと思います	・ご利用者様のご意向を見ながら、検討していきたいと思っています				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	1	1	・相談がある際は、面談の機会を設けていただいています。また、ラインでも相談に乗っていただけるので、とても助かっています	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	2		・職員間の定期的なマニュアルの読み合せや研修を行っています。訓練の内容については、通信等を活用し今後お伝えできるようにしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	1	5		・職員間の定期的なマニュアルの読み合せや研修を行っています。訓練の内容については、通信等を活用し今後お伝えできるようにしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	1	1		・安全計画の作成は行っています。今後お伝えできるようにしていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	1	1	・体調不良や異変が見られた際は、連絡をくださっています	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・今日は、てらびあがある日だとわかると、とても嬉しそうにしています ・幼稚園より、てらびあの方が楽しい様子です	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	・いつも楽しく通園する姿が見られています ・帰りたくないとお迎えを拒まれるほどです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	・季節や行事ごとにさまざまなプログラムを行っていただいているので、親子とも楽しんでいます	引き続き、ひとり一人のお子さまに寄った支援を心がけて参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てらびあぼけっと尼崎阪急塚口駅前教室				公表日	2024年10月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	配置以上の職員がおり、適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	安全に配慮された環境で、ホワイトボードを使って、今日の日付や部屋がどこか写真で解るようになっている。また、手洗いの手順のポスターや入室後に行う流れを写真で掲示しており、目で見て解る工夫を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、子どもたちが使用したセラピーのグッズは消毒拭きを行っている。また、室内の環境整備も毎日実施している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	定期的に会議の場を設けており、業務改善をおこなっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価結果をもとに改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼、職員会議などで情報の共有を行い、意見を収集している。また評価結果を基に業務改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様の評価結果をもとに業務改善に繋げている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	本部開催の研修を毎月周知し、研修の機会を設けるようにしている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	担当者からの情報共有や活動記録を基に、課題を分析している。また保護者との面談でニーズを伺っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	カンファレンスを開催し、支援計画の原案に基づいて、検討が行われている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員で共有し、計画に沿った支援を実施している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	活動記録に記録し、アセスメントしている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	具体的な支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員の意見を取り入れながら、活動プログラムの立案を行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	新しいものを取り入れたり、固定化しないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもたちの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて支援をおこなっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝の朝礼でその日の担当や支援内容・役割分担について話し合い、連携をとっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		気付きを通して、今後のセラピーの内容の変更やお子様に沿ったプログラムの向上につなげていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		開所2年に満たないため、就学に送り出したお子様が数名しかおらず、今後は就学に向けて送り出すお子様の人数が増えてくるため、ご依頼があれば移行支援を行っていく
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者と情報共有を行っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明している		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談事がある場合は、面談の機会を設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者様のご意向を踏まえて、必要があれば交流する機会を設ける必要があると考えている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページのブログで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付き書庫にて適正に管理している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々に合わせた配慮を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		保護者様のご意向や、個人情報などの課題があるが、地域の情報収集を行い、引き続き検討を行う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	発生を想定した訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時にお子様の状況について確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事の提供はない 契約時にアレルギーの情報は聞きとり、共有はしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、安全管理を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	その都度共有し、話し合いを行い再発防止を検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止の研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時等に説明を行っている		